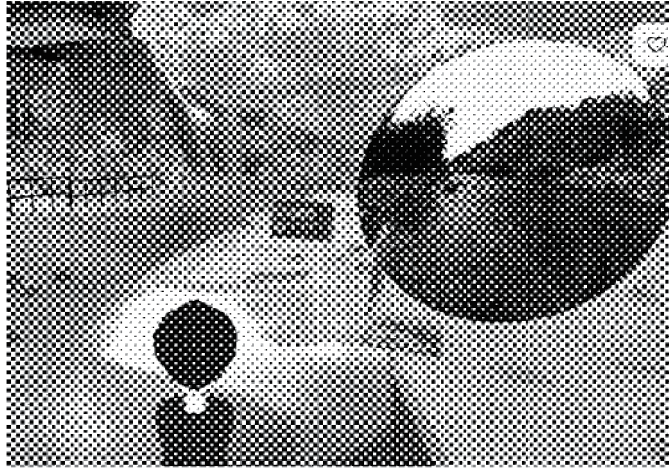


行政機関メタバース構築

千葉・市原市「チバニアン」題材
3者連携で検証

【千葉】千葉県市原 T T 東日本千葉支店 間は2025年3月末
市、千葉商科大学、N は、行政機関でのメタ



バス（仮想空間）活用に関する検証を始めた。子育て世帯や高齢者など、時間や移動に制約がある市民のニーズに対応する。検証期

同市には、地質年代「チバニアン」の国際基準地が存在する。千葉商科大の鎌田光宣教授と学生が、NTTコミュニケーション（東京都千代田区）の仮想空間基盤「DOOR」を用いて、チバニアンを題材とするメタバースを構築した。現地に来ることが難しい人向けにも魅力を発信するため、現地を再現した空間を構築し、アバターを介して説明する。

今後はこのメタバースを用いたイベントなどを開き、メタバースへの関心度や利用実態を把握、分析する。その上で3者が連携し、他の地域資源も活用した空間を新たに構築する。複数空間への一元的な入り口となる空間を設け、市民が利用しやすいメタバースの整備を進めることを検討する。

千葉商科大が構築した「チバニアン」を題材とするメタバース

『日刊工業新聞』2024年4月19日付26面